

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

病虫害発生予察注意報について（送付）

このことについて、令和8年度（2026年度）病虫害発生予察注意報第4号を発表しましたので、送付します。

注 意 報

令和8年度（2026年度）病虫害発生予察注意報第4号

農作物名 茶
病虫害名 カンザワハダニ

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生時期 8月下旬以降
- 3 発生程度 平年比多

4 注意報発表の根拠

- （1）8月中旬～下旬に実施した巡回調査（8ほ場）において、平均寄生葉率は45.8%（平年3.5%、前年6.8%）、10葉当たり平均寄生頭数は16.1頭（前年1.1頭）と平年比多の発生であった。7月中旬～下旬の調査時以降に急増しており、8月の寄生葉率としては、過去30年間で最も高い（図1、2）。
- （2）病虫害防除員（6地域）によると、8月の発生は平年比やや多～やや少であった。
- （3）福岡管区气象台が8月20日に発表した九州北部地方1か月予報によると、降水量は平年並か少ない予想であり、今後2週間程度は少ない状態が続く見込みであるため、本害虫の発生に適した乾燥条件が継続すると考えられる。

5 防除対策

- （1）園内の発生状況を確認し、寄生葉率が10%を超えている園または秋芽で発生が見られたら速やかに薬剤散布による防除を行う。多発後の密度抑制は困難であるため、発生初期の防除に努める。
- （2）薬剤散布の際には、すそ部及び樹冠内部の葉裏にもムラなく薬剤が行き渡るように十分な量（400L/10a）を散布する。
- （3）薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。
- （4）農薬の使用にあたっては、使用回数、濃度、使用量、使用時期を遵守するとともに、周辺作物や有用昆虫・魚介類等の環境に影響がないよう飛散（ドリフト）防止に努める。



本注意報は、病虫害防除所ホームページに掲載しています。

「<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/75/125504.html>」

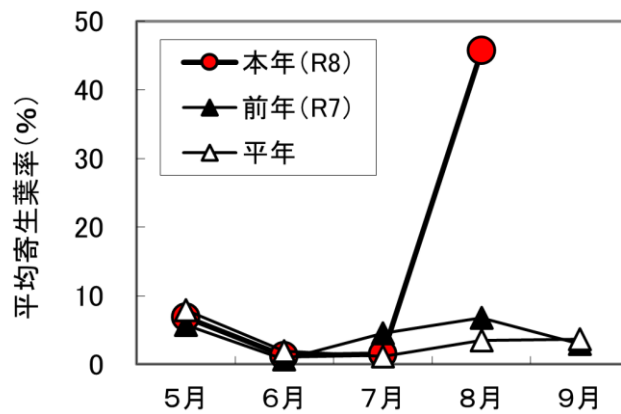


図1 巡回調査（8ほ場）における寄生葉率の推移
平年は過去10か年の平均。

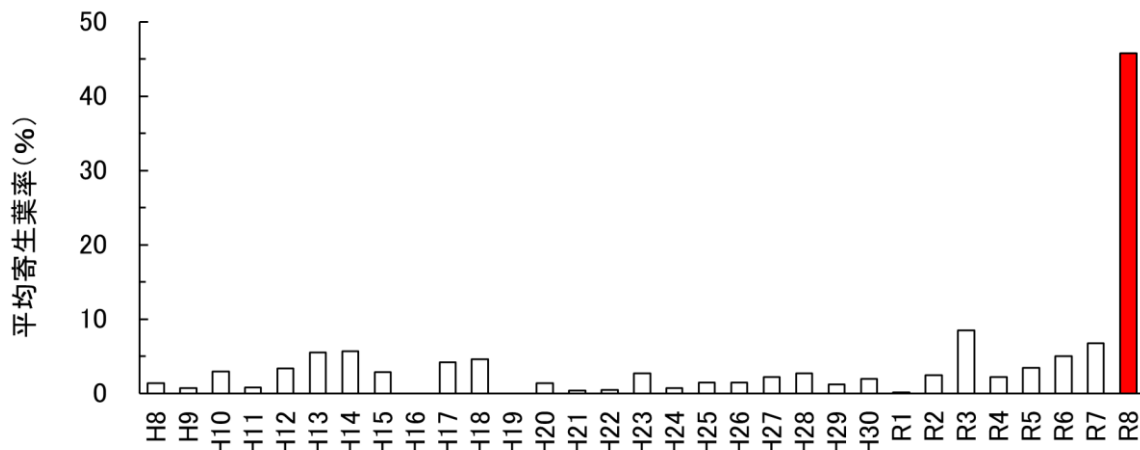


図2 8月の巡回調査（8ほ場）における寄生葉率の年次比較（過去30年）



写真1 カンザワハダニ（体長約0.5mm）



写真2 寄生葉（令和8年8月21日撮影）

熊本県病害虫防除所
(農業研究センター生産環境研究所内)
担当：江口 TEL 096-248-6490



本注意報は、病害虫防除所ホームページに掲載しています。

「<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/75/125504.html>」